

(3) 年 教科【 家庭科 】

使用教科書	技術・家庭 家庭分野 開隆堂	
学習の目標 ・ねらい	・教材,教具を効果的に活用し,実験的・体験的な活動を多く取り入れ,問題解決や改善を図る能力を育成する。	
年間の 授業内容	前期	<p>4月 家族の働き 家庭と地域の関わり</p> <p>5月 幼児の生活と家族 幼児の心身の発達と生活習慣</p> <p>6月 幼児の発達の特徴 子供の成長と家族の役割</p> <p>7月 幼児と遊び ぬいぐるみ制作開始</p> <p>9月 幼児と遊び ぬいぐるみ制作</p> <p>10月 幼児の遊び 幼児と触れ合おう (座学のみ) ぬいぐるみ制作</p>
	後期	<p>11月 幼児との関わり方 ぬいぐるみ制作</p> <p>12月 これからの家族とのかかわり方 ぬいぐるみ制作・振り返り</p> <p>1月 身近な消費生活と環境 商品の選択と購入</p> <p>2月 よりよい消費生活のために</p> <p>3月 環境に配慮した消費生活</p>
特色ある 学習など	・グループ学習	
評価の観点	<p>・家族・家庭の基本的な機能や幼児の発達等について理解を深めるとともに,消費や環境などについて理解しているとともに,それらに係る技能を身に付けられているか。(知識・技能)</p> <p>・これからの生活を展望し,家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し,解決策を構想し,実践を評価・改善し,考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けているか。(思考力・判断力・表現力)</p> <p>・家族や地域の人々と協働し,よりよい生活の実現に向けて,授業や課題の解決に主体的に取り組んだり,振り返って改善したりして生活を工夫し創造し,実践しようとしているか。(主体的に学習に取り組む態度)</p>	
評価の方法	定期テストや小テストの内容,ノート,ワークなど提出物の内容や提出率,授業態度,ぬいぐるみ制作の内容などで総合的に評価する。	
注意事項	ぬいぐるみ制作では裁縫セットを使用する。裁縫セットは原則個人で準備し,糸などの消耗品も自分で管理・補充する。特別な事情で準備できない場合には,教科担当に事前に相談する。	

